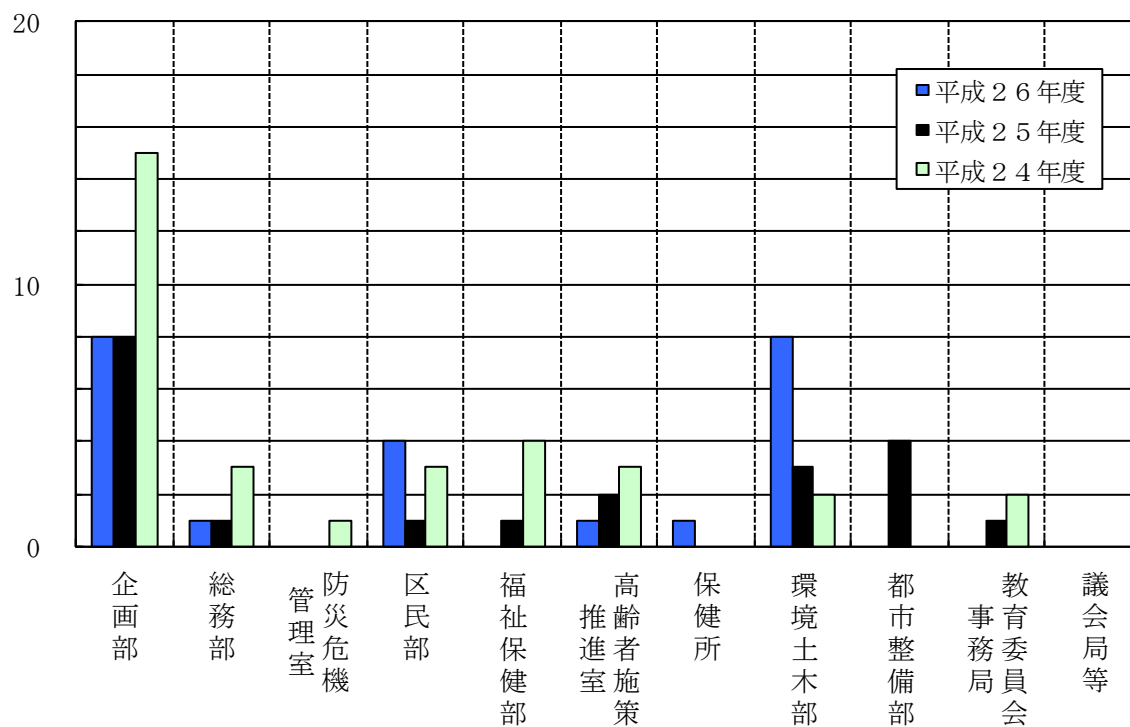


4 要望・陳情書年度別所管別受付件数

所管	平成26年度	平成25年度	平成24年度
企画部	8	8	15
総務部	1	1	3
防災危機 管理室	0	0	1
区民部	4	1	3
福祉保健部	0	1	4
高齢者施策 推進室	1	2	3
保健所	1	0	0
環境土木部	8	3	2
都市整備部	0	4	0
教育委員会 事務局	0	1	2
議会局等	0	0	0
計	23	21	33



5 要望・陳情書件名一覧

月	日	件名	所管部
4	11	要望書（区市等が発行する広報等の点字版発行について）	企画部
4	11	都バス「東12」路線廃止による日常生活の不便を解消してください	環境土木部
5	16	「三原橋センターの歴史と価値を未来へ伝えるための検討委員会」設置のお願い	環境土木部
5	22	「三原橋センターの歴史と文化的価値を検討する委員会」設置のお願い	環境土木部
6	19	勝どき・豊海地区の交通・防犯に関する意見・要望	環境土木部
6	26	要望書（国家戦略特別区域法による外国人滞在施設の旅館業法適用除外認定について）	企画部
7	28	高齢期の年金・保健・医療・介護・福祉・就労の充実を求める高齢者全都共同要請行動申し入れ	高齢者施策推進室
8	15	平成27年度 中央区予算に対する政策要望	企画部
8	20	点字広報等発行のお願い	企画部
9	16	銀座八丁目界隈のネズミ駆除に対する要望書	保健所
9	26	2015年度 中央区予算編成に関する予算要望書	企画部
10	16	平成27年度中央区議会自由民主党議員団政策要望書	企画部
10	17	中小商工業者への施策を拡充し地域経済の振興を求める要望書	区民部
11	4	公共サービス・公共調達に関わるすべての勤労者への政策充実を求める懇談の申し入れ	総務部
12	16	高齢消費者の見守りネットワークの整備・充実に関する要望書	区民部
12	19	ザ・ペニンシュラ東京 屋上ヘリポート整備事業について	環境土木部
1	21	東京都・中央区への晴海四丁目に関する要望事項について	企画部
1	30	要望書（朝潮運河内部護岸整備工事について）	企画部
2	20	3月1日のヘイトスピーチ・デモにかんする緊急の申し入れ	環境土木部
2	20	要請書（区内事業所に働く労働者のための施策について）	区民部
2	27	駐輪場有料化と自転車の撤去・保管料徴収の2015年4月実施の中止を求める要望書	環境土木部
3	5	要請書（東京都平和記念館（仮称）建設について）	区民部
3	31	駐輪場有料化と自転車の撤去・保管料徴収の2015年4月実施の中止を求める要望書（追加分）	環境土木部

IV 行政広聴会



インドのモディ首相が泰明小学校を訪問

1 区政を話し合う会

区政に対する区民の意見や要望を、区長以下、区の幹部職員および区内官公署職員が直接お聴きし、話し合うことで、区政など執行上の参考にするとともに、参加者の区政への理解と協力を得ることを目的として、毎年1回「区政を話し合う会」を開催しています。参加者は、各種団体からの推薦者のほか、参加を希望する区民を公募しています。

(1) 日 時 平成26年11月5日(水) 午後2時～4時

(2) 場 所 中央区役所8階大会議室

(3) 参加人員 24人

(4) テーマ 区政全般について

(5) 参加団体 22団体(当日出席22人)

- ・京橋消防団
- ・工業団体連合会
- ・体育協会
- ・文化連盟連絡協議会
- ・社会福祉協議会
- ・肢体不自由児者父母の会
- ・精神障害者家族会
- ・高齢者クラブ連合会
- ・環境衛生協会
- ・リサイクル活動団体
- ・八重洲二丁目中地区再開発準備組合
- ・商店街連合会
- ・婦人学級連絡会
- ・青少年対策月島地区委員会
- ・民生・児童委員協議会
- ・身体障害者福祉団体連合会
- ・手をつなぐ親の会
- ・心身障害者の進路と生活を考える会
- ・食品衛生協会
- ・環境保全ネットワーク
- ・分譲マンション管理組合交流会
- ・PTA連合会

(6) 一般参加 2人(当日出席2人)

【区側出席者】

区長、副区長、教育長、企画部長、総務部長、防災危機管理室長、区民部長、福祉保健部長、高齢者施策推進室長、保健所長、環境土木部長、都市整備部長、教育委員会事務局次長

【区内官公署】

中央警察署、京橋消防署

<質疑内容>

○ 人口増加と防災対策について

(問) 2011年の東日本大震災より区の人口は増えています。震災時の対応をさらに検討しているとは思いますが、人口増加への防災対策や対応を聞かせてください。

(回答) 東日本大震災の際には、多くの方々が路上や公園に出て、不安の中で、ただ周囲の様子をうかがう、また道路は帰宅者で大変な混雑をするという姿がありました。区としては、震災後、防災拠点（避難所）の受入れ枠の増強に努めるとともに、まずは災害時の区民および区在勤者の方々の行動指針を明確にする必要があると考え、検討してきました。災害時には、むやみに外に出ず、家や会社事務所内にとどまること、また外に出た場合も、すぐさま帰宅しないで会社事務所に戻ることなどを行動指針として、区民の方々や企業にご理解いただくよう広報に努めてきました。今後も、多くの機会をとらえ、この行動指針の周知徹底に努めてまいります。

○ 授業力向上に関する区の取り組みについて

(問) 授業力向上について、反転授業、ICT導入などが注目を集めていますが、区として既に取り組んでいること、これから取り組むことを教えてください。

(回答) 区が独自に取り組んでいるものとして、まずは平成23年8月から実施しているメンターティーチャー制度があります。これは授業や保育に優れた小学校教員4名、幼稚園教員2名をメンターティーチャーと認定し、主に教員になって2～3年の若手教員を対象に、模範授業の実施、若手教員の授業の講評・指導に当たっています。彼らは親身かつ熱心に指導しているため、若手教員からも好評を得ているところです。そのほか、少人数指導講師や外国人英語教師（ALT）などの人的支援も行っています。

また教育設備の整備として、ご指摘のICT機器の導入に努めています。例えば電子黒板や大型テレビの導入を始めています。今後は、国や都の動向を見ながら、一部学校で試行されているタブレット端末の導入も検討したいと思います。

○ 町会参加の促進について

(問) 近年、マンションが建ち、人口も増えていますが、住民の交流が少なく、町会への勧誘も難しい状態です。安全安心なまちづくりは同じ地域に住む人々の共通の願いだと思います。これからも増えていくであろうマンション建設の際に区も町会への参加を推進してください。

(回答) 区としても、まさにご指摘の点を課題とっております。法律上、町会・自治会は任意団体で、強制加入が認められていません。そこで区としては平成21年に「マンションの適正な管理の推進に関する条例」を制定し、マンションの建築主は居住予定者に町会などへの参加など、地域コミュニティ形成への協力を周知することを義務づけました。また、東日本大震災後、地域コミュニティの大切さが再認識された機運も見られます。そこで、区では現在、町会・自治会のイベント（盆踊りなど）への助成による町会・自治会活動の活性化、転入手続窓口での町会・自治会加入促進のパンフレットの配布、町会・自治会のホームページ立ち上げの支援、「こんにちは町会です」の各戸配布など、各種施策に取り組んでいるところです。今後も一人でも多くの方に町会・自治会にご参加いただき、良質なまちづくりを進めていけるように努めてまいります。

2 施設広聴会

区内在住・在勤者で構成された5名以上20名以内の団体を対象に、区の施設および区内の名所などを案内し、区政や区に対する理解を深めてもらうとともに、施設などに対するアンケートをお願いし、関係部署に報告することで施設管理・運営の改善に役立てています。

(1) 第1回

- ・日 時 平成26年8月5日（火）午後1時30分～3時30分
- ・見学施設 ケアサポートセンター十思、ケアサポートセンターつきしま
- ・参加団体 中央区区政モニター友の会
- ・参加者数 18人
- ・施設見学の主な感想

○近代的な設備、小規模だからできる家庭的な環境づくり、今までにないサポートセンターに感心しました。

○標準的なケースの費用がリーズナブルな額だったので、これなら入りたいと思

いました。

○ケアサポートセンターつきしまでは、食堂での調理の状況を見学でき参考になりました。

・施設見学会などの意見・要望

○各地域に増設されることを希望します。

(2) 第2回

・日 時 平成26年11月13日(木) 午後1時30分～4時

・見学施設 ケアサポートセンター十思、堀留町複合施設(保健センター、児童館、保育園)

・参加団体 茅場町二、三丁目地区ふれあい福祉委員会

・参加者数 15人

・施設見学の主な感想

①ケアサポートセンター十思

○施設が明るく清潔で広々としており、説明もわかりやすくとてもよかったです。

○施設の受入人数が29名と少数で、待機者が100名以上と聞き、大変な実態であることを痛感しました。

②日本橋保健センター

○生まれたばかりの子どもを抱える母親にとって心強い支えとなっている場所であると思いました。

③堀留町児童館

○職員方が、熱意を持って子どもを守り育てていることを目の当たりにして、とても安心し、中央区の良さを実感できました。

④堀留町保育園

○毎年工夫をして子育てに携わっている姿に感銘を受けました。ただ、待機児童が大変だと思いました。

V 区 政 モ ニ タ ー



築地にっぽん漁港市場オープン

1 平成26年度 区政モニターの構成

地域 種別		京橋地域	日本橋地域	月島地域	計 (内再任4人)
合計		2	9	17	28
性別	男	2	6	10	18
	女	0	3	7	10
年齢 別	20歳代	0	1	0	1
	30歳代	0	1	1	2
	40歳代	0	1	4	5
	50歳代	0	1	0	1
	60歳代	1	1	5	7
	70歳以上	1	4	7	12
職業 別	会社員	0	1	5	6
	自営業	2	2	1	5
	主婦	0	1	1	2
	学生	0	1	0	1
	その他	0	4	10	14

2 会議

- (1) 第1回 区政モニター会議 <昼間> (委嘱式)
- 日 時 平成26年5月13日(火) 午後2時～4時
- 場 所 区役所8階 大会議室
- 出席者 区政モニター 14人 区側 区長、副区長、企画部長
- (2) 第1回 区政モニター会議 <夜間> (委嘱式)
- 日 時 平成26年5月13日(火) 午後6時30分～8時30分
- 場 所 区役所8階 大会議室
- 出席者 区政モニター 11人 区側 区長、副区長、企画部長
- (3) 第2回 区政モニター会議 <昼間> (事例・課題検討)
- 日 時 平成26年7月24日(木) 午後2時～4時
- 場 所 区役所8階 第一会議室
- テーマ ○区内高齢者の状況
○介護保険制度
- 講 師 福祉保健部高齢者福祉課長 吉田 和子
〃 介護保険課長 生田 淳
- 出席者 区政モニター 14人
- (4) 第2回 区政モニター会議 <夜間> (事例・課題検討)
- 日 時 平成26年7月24日(木) 午後6時30分～8時30分
- 場 所 区役所8階 第一会議室
- テーマ ○区内高齢者の状況
○介護保険制度
- 講 師 福祉保健部高齢者福祉課長 吉田 和子
〃 介護保険課長 生田 淳
- 出席者 区政モニター 9人
- (5) 第3回 区政モニター会議 <昼間> (事例・課題検討)
- 日 時 平成26年10月21日(火) 午後2時～4時
- 場 所 区役所8階 第一会議室
- テーマ 区の図書・文化財
- 講 師 教育委員会事務局図書文化財課長 俣野 修一
- 出席者 区政モニター 12人
- (6) 第3回 区政モニター会議 <夜間> (事例・課題検討)
- 日 時 平成26年10月21日(火) 午後6時30分～8時30分
- 場 所 区役所8階 第一会議室

テーマ 区の図書・文化財
講師 教育委員会事務局図書文化財課長 俣野 修一
出席者 区政モニター 9人

(7) 第4回 区政モニター会議 <昼間> (事例・課題検討)

日時 平成26年11月27日(木) 午後2時～4時
場所 区役所8階 第一会議室
テーマ 生涯学習
講師 区民部文化・生涯学習課長 吉原 利明
出席者 区政モニター 11人

(8) 第4回 区政モニター会議 <夜間> (事例・課題検討)

日時 平成26年11月27日(木) 午後6時30分～8時30分
場所 区役所8階 第一会議室
テーマ 生涯学習
講師 区民部文化・生涯学習課長 吉原 利明
出席者 区政モニター 9人

(9) 第5回 区政モニター会議 (全体会)

日時 平成27年2月12日(木) 午前10時～12時
場所 区役所8階 大会議室
テーマ 区政全般について
出席者 区政モニター 20人

区側 区長、副区長、教育長、企画部長、総務部長、防災危機管理室長、区民部長、福祉保健部長、高齢者施策推進室長、保健所長、環境土木部長、都市整備部長、教育委員会事務局次長

<第5回 区政モニター会議 質疑内容>

○ 晴海地区の公共交通について

(問) 晴海地区に地下鉄開通は実現しますか。もし実現するとすれば、いつ頃を目標にしていますか。

(回答)

晴海地区の公共交通機関、特に地下鉄などの大量輸送交通機関の充実が喫緊の課題と区も考えています。区では現在、都と連携して、都心部と臨海部を結ぶBRT（バス高速輸送システム）の早期導入に向け検討中です。また2020年東京オリンピック・パラリンピック後は晴海に設けられた選手村が集合住宅に転用されたり、お台場や有明などの臨海副都心は今後も開発が続くため、人口が大幅に増加する見込みです。このため、将来的には中央区と臨海副都心を結ぶ地下鉄の導入も不可欠と考えており、地下鉄新規路線の検討調査を今年度より実施しています。地下鉄の導入には平成27年度開催予定の国の交通政策審議会で計画が位置づけられることが必要であることから、国や都などの関係機関に働きかけ、その目標達成に向け全力で取り組みます。計画が位置づけられたならば、オリンピック・パラリンピック後のできるだけ早期の運行開始を目標にしていきたいと思います。

○ 地域で暮らし続けるための高齢者施設について

(問) 老人ホームへの入居希望者が非常に多いと聞きましたが、新入居者を決める場合、どのように選んでいるのでしょうか。

(回答)

区立の特別養護老人ホームなどで新入居者を決める手続は年2回、入所の順番を決める入所調整会議で実施しています。入所の順位は、申込者の①要介護度②認知症の状態③年齢④介護環境⑤区民期間を点数化して、点数の高い方から入所の順位をつけています。この方法にした理由は、本当に困っている方から順番に入所していただきたいと考えたからです。ちなみに民間のケアサポートセンターや晴海苑も、これに準じた形で入所者を決めています。

3 施設見学会

日 時	① 平成26年6月25日(水)	午後2時～午後4時 午後6時30分～午後8時30分
	② 平成26年8月7日(木)	午後2時～午後4時 午後6時30分～午後8時30分
	③ 平成26年9月24日(水)	午後1時～午後4時
	④ 平成26年9月29日(月)	午後1時～午後4時
見学場所	① 介護老人施設「リハポート明石」、特別介護老人ホーム「マイホーム新川」	
	② 区議会議場、京橋図書館	
	③ 中央防波堤ごみ処理施設	
	④ 中央防波堤ごみ処理施設	
参加者	区政モニター 延60人(アンケート回収 51件)	

【アンケート調査結果の概要】

問1 施設見学の感想

①介護老人施設「リハポート明石」

- 施設の設備は立派かつ清潔で管理が行き届いている印象でした。
- 説明がわかりやすく、特別介護老人ホームとの違いが良くわかりました。
- 病後やリハビリで在宅復帰ができる施設は素晴らしいと思いました。高齢者自身も復帰ができる身体のうち、支援施設や相談センターに行って老後の健康管理を考えることが大切だと思いました。

②特別介護老人ホーム「マイホーム新川」

- 清潔で、職員も頑張っている様子でした。
- 環境もよく、面会の方が多いということが良くわかります。
- 高齢化、重度化が進んでおり、職員は大変だと思います。
- 区は、認知症患者を出さない、発症を遅らせる対策に取り組んでほしいです。

③区議会議場

- 一度傍聴してみたいと思いました。
- 想像より狭く驚きました。
- 立派な議場で驚きました。これに負けないような議員諸兄の議論を願いました。

④京橋図書館

- 普段は立ち入ることができない場所を見学でき貴重な体験ができました。
- 東京の中心の京橋らしい資料は、大変頼もしかったです。
- 膨大な書籍には驚きました。歴史上の大切な資料も良く保管されており感心しました。これからもそれらの資料の保守管理には最大限の努力をお願いします。

⑤中央防波堤ごみ処理施設

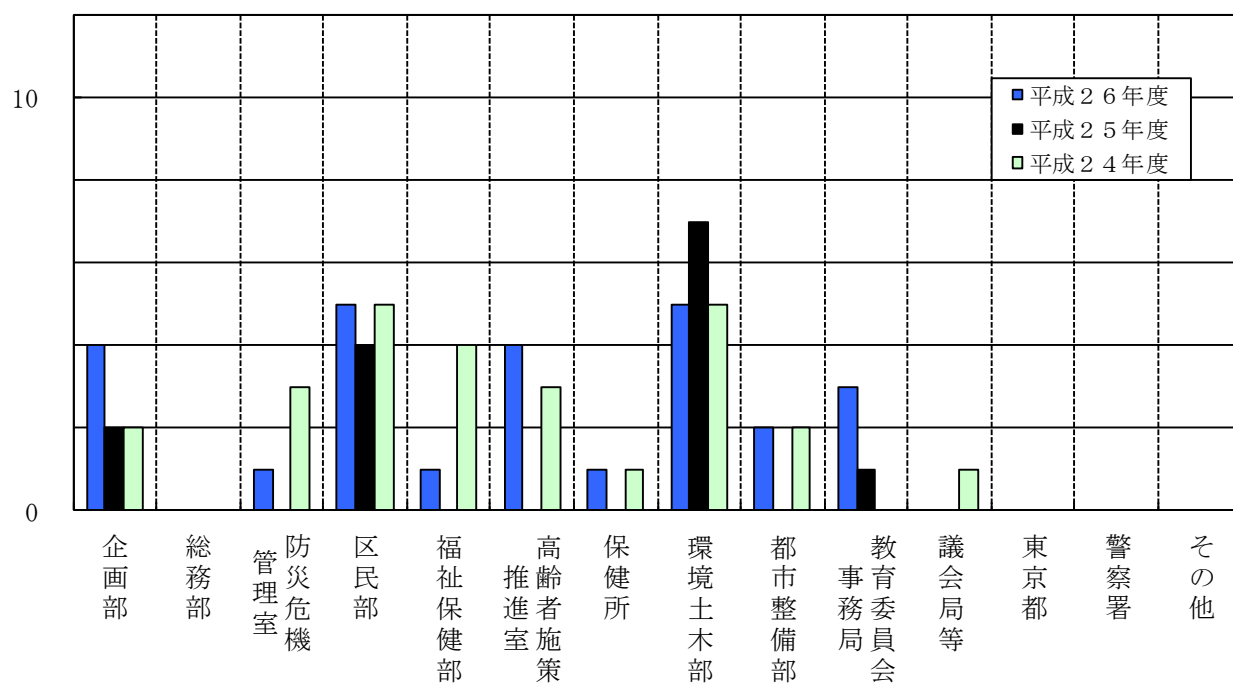
- 「分ければ資源、混ぜればごみ」という言葉が印象的でした。
- ごみを海に埋めているだけの施設とと思っていましたが、資源と廃棄物に分別し利用していることや、ごみから出た水をきれいにして流していること、メタンガスを発電に利用しているなど、大変参考になりました。
- 実に整然として、計画的で実質的な環境整備に向けての処理方針のもと、建設されたすばらしい施設だと思います。

問2 施設見学会などについてのご意見・ご要望

- 区立の施設を知ることができ有意義です。
- 夜間モニターのため、夜間開館している施設の見学になるのはやむを得ませんが、各種相談事業の実際などを知ることができると、区の役割などがよくわかると思います。
- 他区には無い「中央区のみ」の施設を知りたいです。
- 今後、オリンピックに向けてどのような施設ができるのか興味があるので予定地などを見学したいです。
- 施設見学会は滅多にない経験なので、一般の方（町会、自治会）などにも機会があるといいと思います。

4 「モニタ一通信」年度別所管別受付件数

所 管	平成26年度	平成25年度	平成24年度
企 画 部	4	2	2
総 務 部	0	0	0
防 災 危 機 管 理 室	1	0	3
区 民 部	5	4	5
福 祉 保 健 部	1	0	4
高 齢 者 施 策 推 進 室	4	0	3
保 健 所	1	0	1
環 境 土 木 部	5	7	5
都 市 整 備 部	2	0	2
教 育 委 員 会 事 務 局	3	1	0
議 会 局 等	0	0	1
東 京 都	0	0	0
警 察 署	0	0	0
そ の 他	0	0	0
計	26	14	26



5 「モニター通信」事例（要約）

月日	内 容	対 応
企画部		
7/3	オリンピック、築地市場移転とどんだん区が変わっていきます。新しくできる勝どき駅地下ターミナル化、晴海駅が生まれてますます便利になると思います。計画などで今わかっている部分について教えてください。	都では、平成27年度竣工に向けて勝どき駅改良工事と環状第二号線工事を進めています。区では、平成28年度運行開始を目標として基幹的交通システム（BRT）の計画を進めるとともに、今年度から地下鉄導入に向けた検討調査を始めています。
9/17	中央区は銀座など観光の区で知られていますが、中央区こそ住みやすさ一番だと思えます。坂がないので高齢者にも移動しやすく、防犯上安全、身近なところで食料品が手に入り、交通の便が良いなどの特徴から住みやすさをもっとPRしませんか。	これまでも広報紙や公式ホームページ、コミュニティFM、ケーブルテレビなど、様々な広報媒体を活用して情報発信を行っています。加えて近年では、ツイッターとフェイスブックも利用して区の魅力を発信しています。今後も引き続き効果的な情報発信に努めていきます。
11/5	区政モニター会議についてモニター同士の意見交換はなく、一方通行です。モニターも知識や関心がなかったりする項目について、義務的に意見を言わされることに苦痛を感じている人もいます。	モニターとしてお願いしているので知識や関心に関わりなく全員の意見をお伺いしています。また、意見交換は、討論になると小さな意見が消えてしまうため実施はしていません。
12/22	広報紙の配布はポスティングにする方が各家庭に届きやすいです。発行回数・頁数を減らせばできます。	ポスティングは、短期間に多くの手が必要で、また、費用の増加も見込まれます。発行回数は、記事量が増えているため減らすことは困難です。区施設のほかコンビニエンスストアなどでも配布しています。
防災危機管理室		
6/2	大規模災害時に徒歩で登庁できる職員が何名いるのでしょうか。そのうち災害の直接担当課は何人ですか。食糧備蓄はどこにどれくらいありますか。毛布・マットはどのくらいありますか。帰宅困難者への対応はどうなっていますか。	徒歩などで参集できる職員は平成26年4月1日時点で440人おり、防災危機管理室の職員は7名です。区内小中学校や区民館などの備蓄倉庫に3日分の食料や毛布などが保管してあります。民間事業者が主体となった帰宅困難者対策を推進しています。
区民部		
7/9	町会から回覧板が回ってきますが、今時必要なのではないでしょうか。もし区が関知しているなら回覧板でのお知らせは止めて広報の配布と一緒に配ったらどうでしょうか。	区は年度初めに、各町会・自治会から全戸配布数などを提出していただき、必要数をお渡しして周知していただいています。全ての配布物を全戸配布にした場合、印刷経費も増大するため費用対効果を十分に考慮して判断していきます。
9/10	9/6区民体育大会の開会式に参加しましたが、来賓以外はずっと立ちっぱなしでした。ラジオ体操からの参加者は高齢の方が多く、高齢者に優しいまちづくりを目指す区として配慮を欠いた大会運営ではないでしょうか。	厳かな中にも必要事項を凝縮させた運営に心掛けています。ご高齢の参加者への更なる配慮などについては、他団体の実施方法も研究し、着座の取り入れや内容の簡素化など、加盟団体の皆さまとも相談しながら検討していきます。
11/13	シルバーパス交付の手伝いを日本橋公会堂でしましたが、非課税証明書の申請書を2階会場で記入し1階出張所に取りに行くのは手続きの流れが悪いです。また責任者が印鑑を忘れたため会場を直ぐに開けてくれませんでした。	いらした高齢者に負担をおかけしないよう、1階入口で非課税証明書が必要な方と直接2階に行ってよい方を振り分けするなど改善策を関係部署と話し合っています。なお、公会堂の当日利用には印鑑は不要であり、ご指摘の事実はありません。
1/22	築地社会教育会館へ通っています。ホームレスと思われる人達が用も無いのに朝9時から夕方6時頃まで2階ロビーにいます。なんとかしてください。	公共施設は、定められたルールを遵守すれば誰もが利用できることから利用禁止は困難です。長時間にわたる場所の占拠など、他の利用者に迷惑になると判断した際は速やかに退館を促していきます。

月	日	内 容	対 応
福祉保健部			
3	12	東京マラソンにおいてスポーツ指導員の報酬はどのようになっているのでしょうか、他区他県の方々が携わっている理由も教えてください。スポーツ教室も担当部署も丸投げではなく、指導者を管理しないのはいかがでしょうか。	東京マラソン財団ボランティアセンターからスポーツ推進委員協議会へ協力依頼がありました。報酬はありません。スポーツ推進委員は区の規則に基づき委嘱し、スポーツ教室において、指導者の能力および特性を踏まえて指導していただいています。
10	31	生涯学習交流館本の森ちゅうおう（仮称）について区政モニター会議で聞きました。図書館を中心にした施設には賛成ですが、他施設併設には反対です。入院設備のある総合病院を作ってください。	都が策定した東京都保健医療計画の区中央部に本区は属し、保健医療圏の基準病床数5,258床に対し既存の病床数が13,703床と基準を大きく上回っています。基準病床数を上回る保健医療圏では、増床ができないため、病院の誘致ができない状況です。
高齢者施策推進室			
5	22	高齢者の徘徊する方の確認方法としてバーコード式の貼り付けステッカーであれば、市・区、警察に解読器を導入すれば個人情報での漏洩の心配もありません。今の時代開発できます。ご検討ください。	区では平成24年6月から「見守りキーホルダー」登録システムを始めました。認知症高齢者で、見守りキーホルダーを携帯できない方には、登録番号とおとしより相談センターの名称・連絡先を下着や靴に直接記入するなど、ご活用できるようご案内しています。
8	7	呼び名に提案です。前期高齢者を前期シニアに、後期高齢者を後期シニアに変更してはどうですか。	呼び名の提案をいただきましたが、「前期高齢者」・「後期高齢者」は、高齢者の医療の確保に関する法律で定められた法律上の名前ですので、「前期シニア」・「後期シニア」を通称名として使用したとしても、併記せざるを得ないと考えます。
8	8	介護施設を見学しましたが、入所しているお年寄りの目はうつろでした。児童館との連携、幼稚園との交流、内職作業の従事をしたらどうでしょうか。社会と繋がっていることで元気になるのではないかと考えます。	施設では、近隣の保育園などに在籍する子供たちやボランティアの方々や多世代にわたり交流を行っています。また、入所の方は常時介護が必要な高齢者ですので報酬を得るほどの作業は困難ですが、日常生活の中でできることをしていただいています。
10	31	生涯学習交流館本の森ちゅうおう（仮称）について区政モニター会議で聞きました。図書館を中心にした施設には賛成ですが、他施設併設には反対です。待たずに入れる介護施設を作ってください。	現在、特別養護老人ホームには、民間施設も含め毎年約80の方が入所しています。また、再開発の機会などをとらえて整備を進め、この3年間で84床の入所定員の拡大を図っていきます。
保健所			
11	19	月島保健センターに肝炎ウイルス検査の問合せに行ったが、全くわかっていない。結果、保健係に問合せようコピーを渡された。知らない分からないは職務怠慢です。区役所と出先の情報における落差が大きいと思う。	肝炎ウイルス検査の詳細や健診の受診状況は、主管課の福祉保健部管理課保健係で管理しており、正確な情報をお伝えするためにホームページで確認した情報をお渡ししました。今後、健康に関する情報を把握しお問合せに迅速に対応できるよう努めます。
環境土木部			
4	3	歩道に堂々と看板を出している業者が多いです。昭和通り交差点から勝どき橋にかけて多いです。緊急時などに障害になるとは思いますが対処できませんか。外国人も多い所だと思いますので中央区の恥です。	今年に入り3度、区と築地警察、都第一建設事務所合同で看板などの所有者に違法行為であることの周知、自主移動または撤去するよう指導、物件への警告書貼付を行い、改善されていない物件の除去をしました。今後も実施します。
7	16	築地四丁目に放置バイクや放置自転車があります。対応してください。	築地四丁目7番付近に自動二輪車および自転車が放置してある旨通報があり、7月18日および22日、25日、8月21日に見回りを行いました。自動二輪車の放置はありませんでしたが、自転車に対して注意札を貼付し移動を促しました。

月	日	内 容	対 応
9	16	区道歩道上にまたタバコポイ捨てのシールが今日張られました。以前に雨などで濡れて滑りやすいので取り外ししていただいたばかりなので不思議に思いメールしました。連絡お待ちしております。	平成26年6月にマンション前の歩道上の路面シートを取り外してほしいとの要望があり、対応したことが判明したため、路面シートを取り外しました。
12	26	小さい道路に愛称が必要ですか。毎日通る道路に「居留地中央通り」という標識が立っているのを見ました。いまどき居留地という言葉聞きません。愛称はもっと広い道路に付けてこそ便利になると考えます。無駄使いではありませんか。	愛称名設定は、地域の方から申請を受け、道路愛称名選定委員会に諮りながら決定しています。「居留地中央通り」は、築地外国人居留地の歴史や文化を将来にわたって継承するとともに、多くの人々が地域に愛着を持っていただくため設定しました。
3	9	リサイクルハウスでの粗大品の無料提供は非常に良い施策ですが、修理をする職員不足により終了するそうです。区民の中には技能者がいるはずだから公募するなりして続けてほしいという利用者の声があります。再考をお願いします。	粗大ごみを職員などが修理して再利用するのではなく、区民の自主的な行動を促進するとともに資源として再利用する意識を高めるため粗大品の無料提供を終了し、譲りたい方と譲ってほしい方で直接取引する不用品交換システムに一元化しました。

都市整備部

7	1	大地震対策を区の担当部署にお願いし現地調査をしてもらったところ1億円以上かかることが分かり、諦めるしかありません。今後、完全な対策でなくてもできる方法をアドバイスしていただければ助かります。	耐震診断を行いその結果に基づき補強設計を行わなければ耐震補強工事に掛かる費用は算出できません。耐震診断と補強設計を行ってれば、現時点は予算の範囲内で部分的な補強を行い費用が準備できた段階で完全な補強を行うこともできます。
7	16	都市整備公社主催のマンション交流会に参加しました。区長や幹部にも来て頂き、各マンション理事や理事長と意見交換して町会とマンションが協力できるようにお願いします。	分譲マンション管理組合交流会は、支援を行う都市整備公社スタッフの出席により運営を行っています。区としても、様々な機会を通じて地域コミュニティの強化に取り組んでおり、交流会の開催テーマに応じて区職員が出席させていただいています。

教育委員会事務局

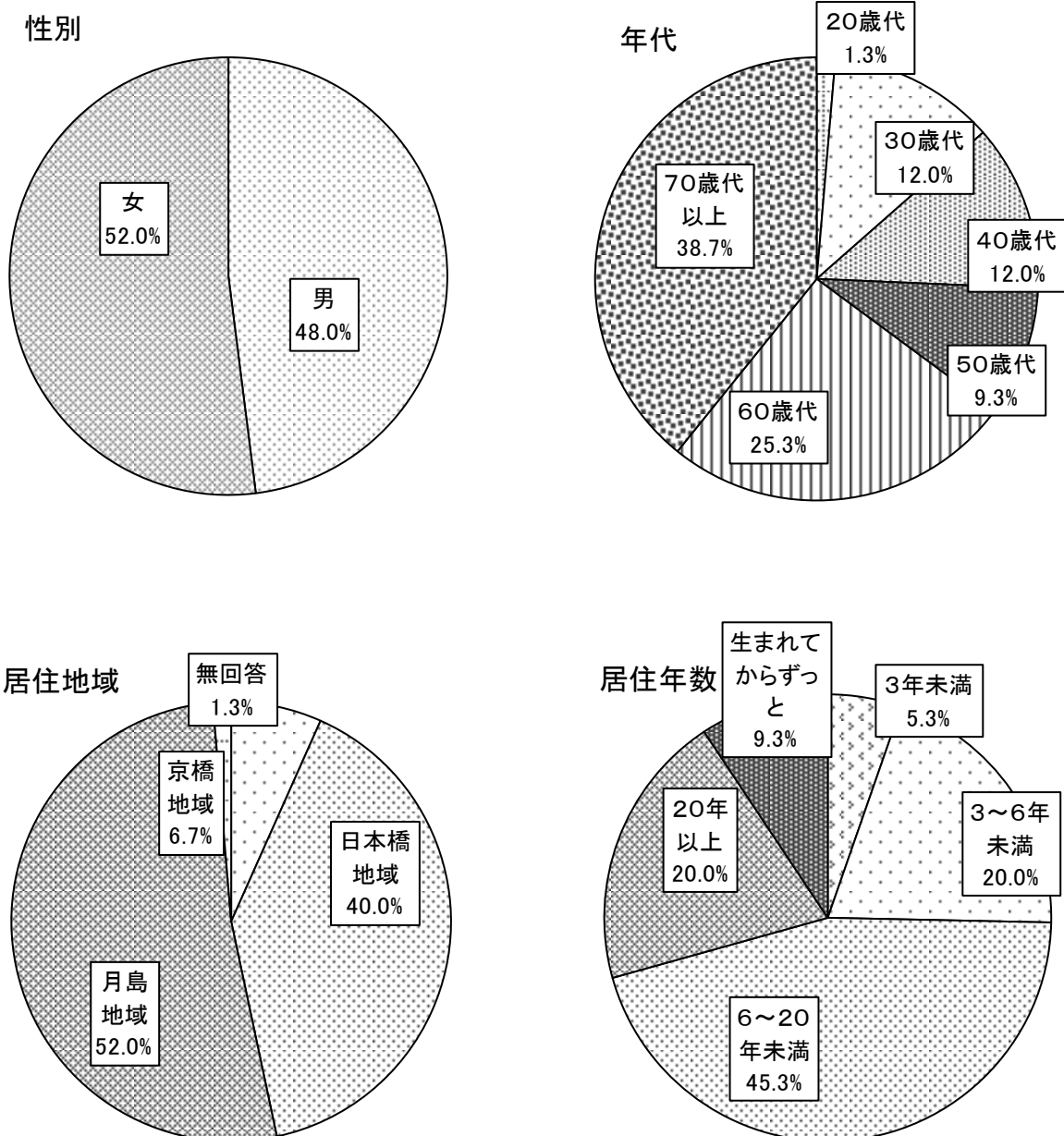
9	10	9/6区民体育大会の開会式に参加しましたが、式の中で歌う「区歌」について、学校ではどんな機会に区歌が歌われているのでしょうか。	区歌は、入学式や卒業式などで合唱している学校はありませんが、中学校社会科副読本で制定年月日などを紹介しています。地域や区への愛着心や一体感を醸成する教材として必要に応じ、授業などの中で紹介したり親しむ機会をつくってまいります。
10	31	生涯学習交流館本の森ちゅうおう（仮称）について区政モニター会議で聞きました。図書館を中心にした施設には賛成ですが、他施設併設には反対です。絵に描いた餅に感じます。内容についても有効性を考えて下さい。	本の森ちゅうおう（仮称）の実施設計では2度のパブリックコメントを行い区民の皆さまのご意見をお伺いするとともに、区の考え方を示しながら調整を図ってきたところです。館全体の多彩な空間を横断的に利用できる生涯学習の場としていきます。
11	27	プレディについて委託業者が実施していますが、育成に関し中途半端な気がします。今のレベルなら高齢者でやれる気がしますし、サポーターに支給する金額はいかなる理由で設定されているか疑問です。これでは有能なサポーターは集まりません。	プレディの運営は区職員や委託職員による見守り・指導を基本としながらも、サポーターのご協力を得ることで世代間交流が図られ、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。サポーターには交通費や連絡通信費相当分として1回500円を支給しています。

6 平成26年度 区政モニターアンケート調査

□調査の概要

テーマ 男女共同参画社会と区の女性施策について
 調査年月 平成26年9月
 調査方法 郵送法（郵送発送→郵送回収）
 対象数 102人（モニター28人、モニター経験者74人）
 回収数 75人（回収率 73.5%）

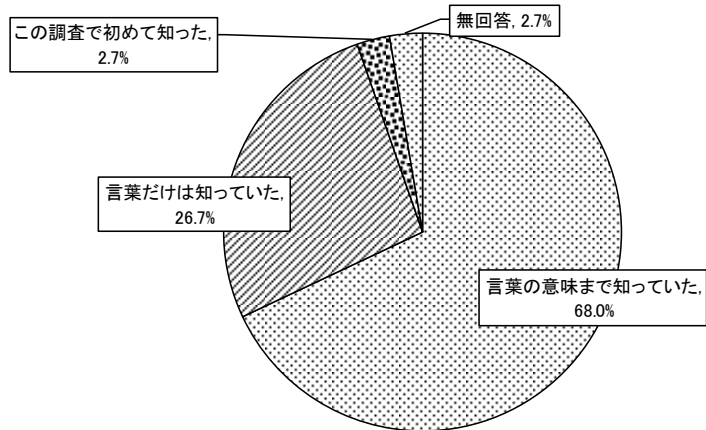
◎はじめにあなたご自身のことについてお聞きします。



◎男女共同参画社会と女性施策推進についてお聞きします。

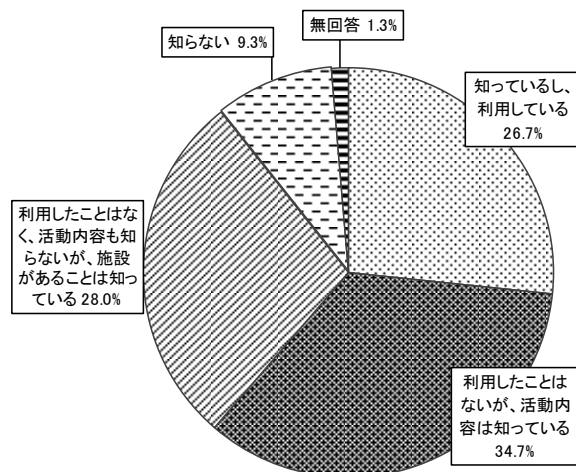
問1 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。(1つに○)

- 1 言葉の意味まで知っていた
- 2 言葉だけは知っていた
- 3 この調査で初めて知った



問2 あなたは、区が男女共同参画推進のための拠点として設置した女性センター「ブーケ21」を知っていますか。(1つに○)

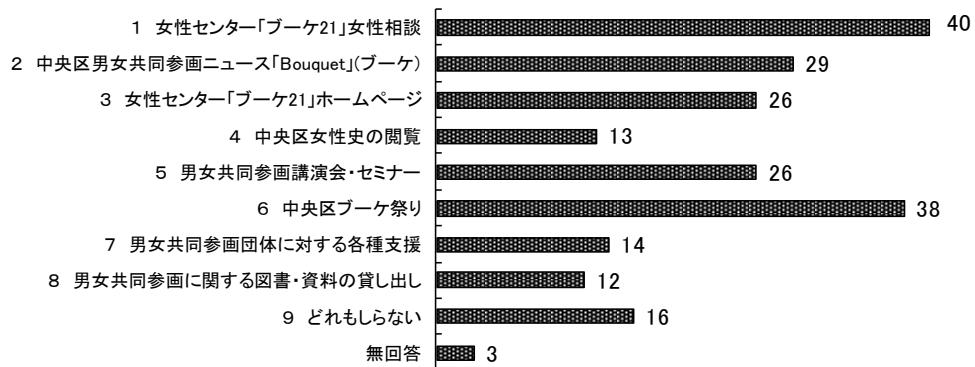
- 1 知っているし、利用している
- 2 利用したことはないが、活動内容は知っている
- 3 利用したことはないが、活動内容も知らないが、施設があることは知っている
- 4 知らない



問3

あなたは、女性センター「ブーケ21」で実施している次の事業を、知っていますか。（いくつでも○）

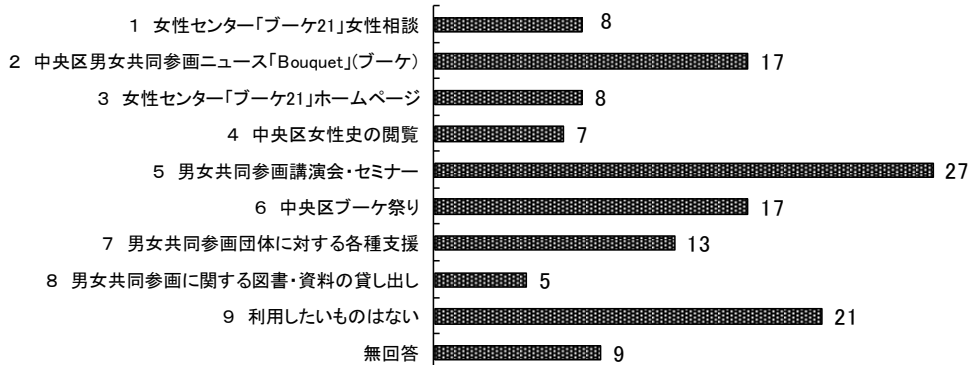
- 1 女性センター「ブーケ21」女性相談
- 2 中央区男女共同参画ニュース「Bouquet」（ブーケ）
- 3 女性センター「ブーケ21」ホームページ
- 4 中央区女性史の閲覧
- 5 男女共同参画講演会・セミナー
- 6 中央区ブーケ祭り
- 7 男女共同参画団体に対する各種支援
- 8 男女共同参画に関する図書・資料の貸し出し
- 9 どれも知らない



問4

あなたが、問3であげた女性センター「ブーケ21」の事業で 今後利用したいものはどれですか。（いくつでも○）

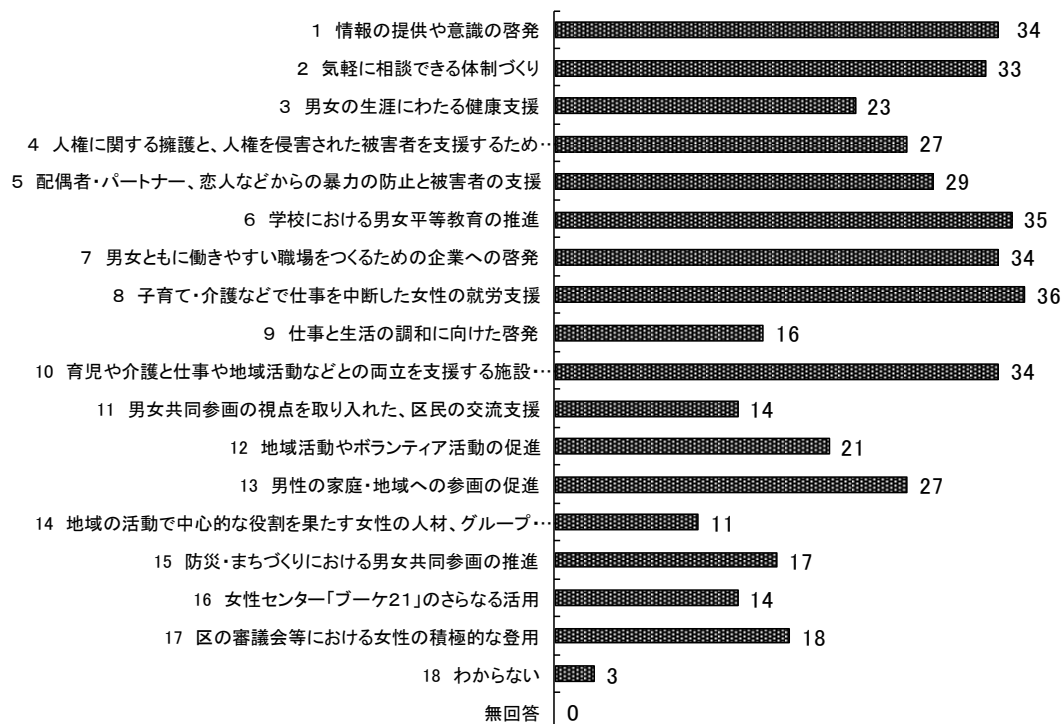
- 1 女性センター「ブーケ21」女性相談
- 2 中央区男女共同参画ニュース「Bouquet」（ブーケ）
- 3 女性センター「ブーケ21」ホームページ
- 4 中央区女性史の閲覧
- 5 男女共同参画講演会・セミナー
- 6 中央区ブーケ祭り
- 7 男女共同参画団体に対する各種支援
- 8 男女共同参画に関する図書・資料の貸し出し
- 9 利用したいものはない



問5

あなたは、男女共同参画をすすめるため、今後、区はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（いくつでも○）

- 1 情報の提供や意識の啓発
- 2 気軽に相談できる体制づくり
- 3 男女の生涯にわたる健康支援
- 4 人権に関する擁護と、人権を侵害された被害者を支援するための取り組み
- 5 配偶者・パートナー、恋人などからの暴力の防止と被害者の支援
- 6 学校における男女平等教育の推進
- 7 男女ともに働きやすい職場をつくるための企業への啓発
- 8 子育て・介護などで仕事を中断した女性の就労支援
- 9 仕事と生活の調和に向けた啓発
- 10 育児や介護と仕事や地域活動などとの両立を支援する施設・サービスの充実
- 11 男女共同参画の視点を取り入れた、区民の交流支援
- 12 地域活動やボランティア活動の促進
- 13 男性の家庭・地域への参画の促進
- 14 地域の活動で中心的な役割を果たす女性の人材、グループ・団体の育成
- 15 防災・まちづくりにおける男女共同参画の推進
- 16 女性センター「ブーケ21」のさらなる活用
- 17 区の審議会等における女性の積極的な登用
- 18 わからない



問6

問5の選択肢以外で、区が行うとよいと思う提案がありましたら、自由に書いてください。

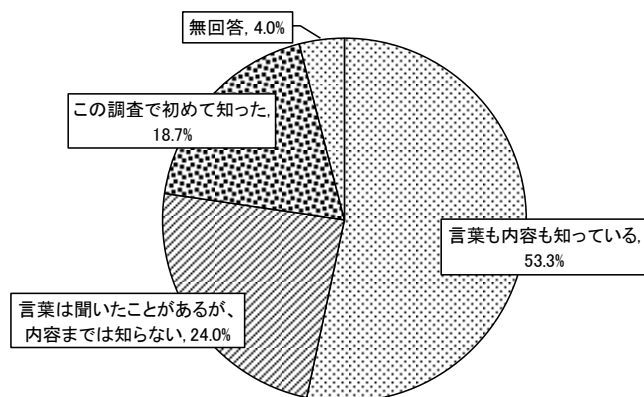
意見抜粋

- ・各町会に女性センターの話題を取り上げて欲しい。
- ・男も気軽に出入できるようなことを考え、実施すべきだ。
- ・男性の意識改革と、国民的教育が欠かせないと思います。
- ・女性センターは女性のみ利用に限っていると思っていた。男性も一緒に利用できる活動を計画してみたら。
- ・場所がどこにあるのか判らない人が多いと思う。男性や若者にも開かれたイメージ作りを。
- ・男女協同参画という言葉をごだだけの人に浸透しているのかと思います。
- ・男性も子育てでできる生活の支援。
- ・区のレベルではなく国民・企業の意識の話である。区が行うとしたら地道な教育などでしょう。
- ・男性の活動が必要であることを強くPRするため、いきいき館に出前講座に来て下さい。
- ・企業への啓発を一步進め、取り組みを発表しあう場づくりなどを施策として検討する。
- ・女性の社会進出の条件を整えることが大切。例えば保育制度の充実。

問7

あなたは、「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)という言葉を知っていますか。(1つに○)

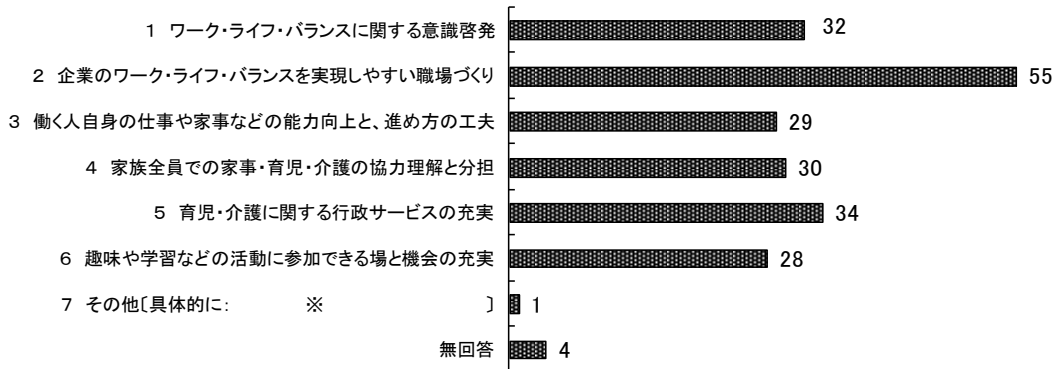
- 1 言葉も内容も知っている
- 2 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 3 この調査で初めて知った



問 8

あなたは、社会全体でワーク・ライフ・バランスを推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも○）

- 1 ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発
- 2 企業のワーク・ライフ・バランスを実現しやすい職場づくり
- 3 働く人自身の仕事や家事などの能力向上と、進め方の工夫
- 4 家族全員での家事・育児・介護の協理解解と分担
- 5 育児・介護に関する行政サービスの充実
- 6 趣味や学習などの活動に参加できる場と機会の充実
- 7 その他〔具体的に： 〕

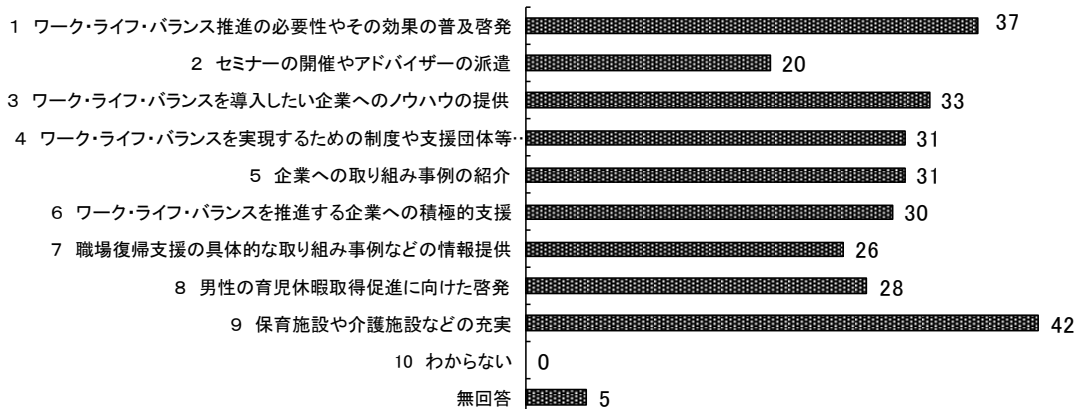


※ 元気な高齢者が働ける場づくり

問 9

あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、行政が重点的に取り組むべき施策は何だと思いますか。（いくつでも○）

- 1 ワーク・ライフ・バランス推進の必要性やその効果の普及啓発
- 2 セミナーの開催やアドバイザーの派遣
- 3 ワーク・ライフ・バランスを導入したい企業へのノウハウの提供
- 4 ワーク・ライフ・バランスを実現するための制度や支援団体等の情報提供体制の充実
- 5 企業への取り組み事例の紹介
- 6 ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への積極的支援
- 7 職場復帰支援の具体的な取り組み事例などの情報提供
- 8 男性の育児休暇取得促進に向けた啓発
- 9 保育施設や介護施設などの充実
- 10 わからない



問10 前問の選択肢以外で、効果的な提案がありましたら、自由に書いてください。
自由に書いてください。

意見抜粋

- ・男女は体の機能も異なり、スポーツも男女別になっていることも考えるべき。
- ・小規模企業には支援が必要だが、それ以上は企業自身が行っているため、行政がむやみに口出す必要はどうかと思う。
- ・職場復帰が不可能な場合の起業家としての支援
- ・わが国有数の企業や事業会社を有する中央区が先進自治体となることを期待しています。
- ・先進企業の職場見学・意見交換会の開催
- ・昼間の講座が多く、夜間が少ない。ワーク・ライフ・バランスを充実させるため、働く人のための就業後の講座やスポーツ教室を増やして欲しい。
- ・ワーク・ライフ・バランスは耳にやさしい言葉だとおもいますが、抽象的で高い目標に聞こえます。
- ・学校での啓発授業を取り入れる。
- ・ワーク・ライフ・バランス自体知りませんでした。名前だけでなく内容をもっと広めたいと思います。
- ・サポート体制の充実があって男女協同参画社会が推進される。

問11 あなたが、男女共同参画や男女平等について、家庭・地域・職場で日頃から感じていること、また、中央区の男女共同参画を進めるための施策について望むことなどがありましたら、自由にお書きください。

意見抜粋

- ・学校における男女平等教育の推進と小さいときからの家庭教育が大切。意識が変わらない限り、この課題解消は無理。
- ・上からのお仕着せは良くない。企業・労働者双方に利益となる事例を示すべき。
- ・首相の提言する「女性管理職3割」に反対。男女関係なく能力と意欲のある人を擁するシステムの確立を性別の問題ではない。
- ・私は、男性と女性の能力、本能的な違いを理解してから女性が活かされる社会を応援したいと思います。
- ・安心して働ける保育・児童施設と介護施設の充実・増設を。
- ・地域の子育て世代が交流しあえるような多様な場づくりを考える。
- ・各種団体の交流があって参画層の厚みが出るのでは。
- ・一部の良心的な人々に頼るだけでは生ぬるいと思う。
- ・女性の意見を聞きすぎて、男性の取り込みを忘れていないか。女性センターに男性が気安く入れない状態では男女平等はありえない。
- ・女性はリーダーになることをしり込みすることが多い。自らすすんでリーダーになる講習会などに取り組んで意見交換してみたら。

平成26年度 広聴の記録

平成27年9月作成

作成 東京都中央区企画部広報課

東京都中央区築地1-1-1

電話 03-3546-5222